

田代岳「欧州の視点で読み解くマーケット」 更新日：3月30日



米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャータード銀行と外資系銀行にて、20年以上、外国為替ディーラーとして活躍。その後、独立し現在は投資情報配信を主業務とする株式会社 ADVANCE 代表取締役。

28日のドル円の動きは1日に1円以上の上昇は半年振りぐらいの動きとなりました。105円の節目をブレイクし、ついで104.50の節目をブレイクしようとしたましたが、104.50に失敗して反発という流れとなりました。105円、104.50にそれぞれオプションバリアーが設定されていました。105円のオプションはブレイクされましたが、104.50のオプションブレイクには失敗しました。

今週は3月30日が日本の月末、四半期末、年度末という決算が重なります。このような時は期末に絡む特殊な需給が市場を変動させることが良くあります。基本的には月末などにはドル買い需要が多いので、今回もそのようなドル買い需要があった可能性があります。

昨晚発表された米国の第4四半期GDPは前期比年率で2.9%となり、改定値の2.5%から上方改定され予想の2.7%も上回りました。

トランプ大統領は中朝の首脳会談に対して、非常にうまくいった金氏との会談を非常に楽しみにしているとツイートしました。北朝鮮問題の進展が明確になったことはリスクオンの流れを支えました。また新聞の報道によると日朝首脳会談が6月にも開催されるという記事もありました。地政学的リスクが和らいだことは日本株や円相場にとっては好材料で日本株だか、円安の材料になりました。

いろいろな材料が為替を動かしますが、やはり相場は需給の動きをチェックすることが重要でしょう。有名なものにIMMの通貨先物ポジションがあります。3月20日時点のIMMの円のポジションはネット21999枚の円ショートとなり前週からネット円ショートポジションが53934枚減少しました。ドル円が104円台に下落する局面で円のショートポジションがだいぶ縮小（円の買戻しが行われた）したことが分かります。

ただこのポジションは1週間遅れのもので、しかもIMMのポジションには大きなマクロファンダ、為替のトレードに積極的な中央銀行のポジションは含まれていません。サクソバンクのForex Open Positions (<https://www.tradingfloor.com/tools/fx-open-positions>) というツールを使うと随時ポジション状況が把握できます。現状ではロングポジションが44.67%、ショートポジションが55.33%となっており、まだ若干ショートポジションが多いようです。



FX Options Analytics (<https://www.tradingfloor.com/tools/fx-options-vols-reversals-risk>) というツールもありますが、ドル円の1ヶ月物のボラティリティ (変動率) は2月の10%程度から昨日は6.85%に低下しており、こちらもリスクオフからマーケットが徐々に落ち着いてきていることが分かります。ただ本日は7.75%にやや上昇しています。

29 Mar 2018, 1230 GMT

ATM VOLATILITIES

Pair	Spot	1w	1m	3m	6m	9m	1y
EURUSD	1.2317 (-0.58%)	5.7 (0)	6.63 (-0.02)	6.93 (-0.07)	7.12 (-0.05)	7.23 (0)	7.26 (-0.05)
USDJPY	106.46 (0.15%)	7.24 (+0.39)	7.75 (+0.05)	8.18 (-0.12)	8.44 (-0.06)	8.66 (-0.04)	8.75 (-0.03)
GBPUSD	1.4074 (-0.51%)	7.25 (+0.4)	7.67 (+0.17)	8.25 (+0.04)	8.45 (+0.16)	8.6 (+0.1)	8.77 (+0.15)
AUDUSD	0.7682 (-0.03%)	7.95 (+0.17)	8.1 (+0.15)	8.4 (+0.06)	8.67 (+0.13)	8.9 (+0.02)	9.06 (+0.04)
USDCAD	1.2891 (0.03%)	7.25 (+0.1)	7.63 (-0.12)	7.63 (+0.03)	7.59 (0)	7.63 (0)	7.68 (0)
USDCHF	0.9562 (0.42%)	5.75 (+0.25)	6.5 (+0.1)	6.97 (0)	7.38 (0)	7.68 (0)	7.88 (0)
EURJPY	131.12 (-0.42%)	7.79 (+0.29)	8.35 (-0.05)	8.54 (-0.06)	9.07 (-0.04)	9.14 (-0.03)	9.19 (-0.03)
EURGBP	0.8752 (-0.08%)	5 (0)	6.1 (-0.17)	6.7 (-0.05)	7.03 (0)	7.17 (-0.1)	7.29 (-0.05)
EURCHF	1.1778 (-0.18%)	4 (-0.5)	4.4 (-0.35)	4.78 (-0.3)	5.2 (-0.1)	5.33 (-0.1)	5.46 (-0.1)
XAUUSD	1323.94 (-0.73%)	8.75 (-0.5)	9.51 (-0.29)	10.31 (-0.29)	11 (-0.3)	11.6 (-0.2)	12.1 (-0.15)
XAGUSD	16.2720 (-0.88%)	15 (0)	15.6 (-0.3)	16.53 (-0.57)	17.37 (-0.35)	18.08 (-0.35)	18.64 (-0.3)

Change from 2018-03-28 12:30 to 2018-03-29 12:30 UTC

FX Options Analytics: Vols, Risk Reversals & Pin Risk: 1230 GMT

At-the-money (ATM) implied volatilities are the prices (in volatility terms) for the most liquidly quoted forex option contracts. Significant changes can indicate a change in market expectation of future variability in the underlying forex spot market. [Learn more about implied volatility](#)

ドル円の1ヶ月物のオプションボラティリティは2017年初頭は円高の流れで12~13%ありましたが、その後8~10%のレンジに落ち着いていました。10月以降の適温相場の際は6~7%でしたが、ドル円が下落する局面では10%台を声、また最近7%割れに低下していました。

週末の金曜日と月曜日はイースターで欧州市場が休場となり動きが出づらくなるかもしれません。東京市場は期末の動きをこなし、4月の新年度入りでは新規資金が株式市場や外国投資に向かうかパターンが連年の動きです。今年はこれらのフローがどれだけマーケットに影響を与えるのか見きわめるとともに、6日の米雇用統計に向けた動きになるでしょう。短期的には104.50~107.50のレンジ内の動きと思われます。

【本レポートについてのご注意】

■本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。

■お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、当社は責任を負いません。

■本レポートに示した投資に関する情報は、お客様に適切なものであるとは限りません。これらはあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。

■本レポートは、作成時点において当社が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。

■本レポートの内容は法律によって保護されており、その著作権は当社または当社が契約を締結した情報提供者等に帰属します。その全部か一部かを問わず、当社または情報提供者等は無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ投稿や掲載等を行うことはできません。